

# 体幹部CT矢状断画像から骨粗鬆症患者を抽出する取り組み —多職種連携によって治療へ繋ぐ— に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	<p>現在、高齢化が進む日本では骨粗鬆症の患者さんは1,580万人ほど存在していると推定されています。その内、約8割の患者さんは未治療と言われています。その原因の1つとして、骨粗鬆症性の椎体骨折（vertebral fracture：以下VF）していても本人が症状を自覚していない為、骨折している事に気付いていない「いつのまにか骨折」の存在が挙げられます。</p> <p>骨粗鬆症性のVFは骨密度に関係無く「骨粗鬆症」と診断されていて、二次骨折予防の為に「薬物治療が必須」とガイドラインで定められています。</p> <p>そこで今回、放射線技師がCT画像再構成によってVFを抽出して、研究対象に当てはまる患者さんの骨粗鬆症治療に繋がられる様に多職種連携によるシステム構築を試みています。</p>
研究の方法	<p>体幹部CTを撮像した患者さん全員に対して矢状断画像を再構成して、放射線科の医師がVFのスクリーニングを実施し、MA（Medical Assistant：メディカルアシスタント）と連携をしてVFが発見された患者さんについて骨粗鬆症治療歴を確認したのち、主治医に報告して必要に応じて整形外科の医師より紹介を受けて対象者としています。</p>
対象者	<p>下記の基準に全て当てはまる患者さんを対象にしています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①2023年10月1日から2023年12月31日に済生会横浜市東部病院を受診した方</li><li>②40から100歳迄の男性及び女性。</li><li>③糖尿病内分泌内科、産婦人科、呼吸器内科のオーダーにてCTを施行された方</li></ol>
利用する試料/情報	年齢、性別、骨粗鬆症治療歴
利用する試料/情報の取得方法	通常の診療を行い、その診療録から取得しています。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第26回日本骨粗鬆症学会で発表予定です。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2024年8月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 放射線部/佐藤 秀紀
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 放射線部/佐藤 秀紀